

第四回地域フォーラム

人と人 心と心のわ

副分区長 横瀬 博



おもしろかった。実におもしろかった。だが、何で笑ったのか思い出せない。覚えていたのはサブタイトルの一部「・・・人と人・・・のわ」と講師の名前だけだった。

二月二十一日、地域フォーラムが開かれた。冒頭の話は、三日後に感想文の依頼を受けた時の話だ。話に笑ったのは覚えていたが、中身は忘れていた。歳からくる健忘症か。

サブタイトルの「ひろげよう 人と人 心と心 のわ」は、大きい内容だ。

ある介護士に「被介護者の中には人が傍にいただけで満足する人がいる」と聞いたことがある。

講師の話も、人はひととの間で感じ方が違う事を話していた。その「感じ」にひとは言葉によって補い、心を通わせようとする。使い減りしない唇を上手に使うよう心掛けることが大切だと話を続けていた。

話は違うが、団体と団体の間も同じ事がいえる。団体間も話し合いを重ねれば意志の疎通が図れる。心が通えば各団体の特性を大いに生かして協力しあうので地域力が向上する。

最近「コミュニティの崩壊」などよく言われる。フォーラムは奇しくも「コミュニティセンター」で開かれた。「人と人 心と心 のわ」を心してみんなで広げたいものである。



栗木剛講師

「さくらまつり」と山口センター開所・さくらやまなみバス開通 式典に寄

分区長 蘆田 敏



第44号
平成21年4月15日
西宮市社会福祉協議会
山口支部北六甲台分区
分区長 蘆田 敏郎

四月五日、雨のため順延になった「さくらまつり」が、有馬川沿いの遊歩道の満開に近い桜の下で開かれ、家族連れで賑わいました。

分区関係の「ふれあい喫茶「パスタ」」とも打ちつくる「う」も例年のようにお陰様で盛況でした。関係者の皆様のご苦労に感謝します。

さて、前日はセンター開所・バス開通の祝典が開かれ、長年の願いである地区の中心建物と南北を結ぶ交通機関ができたことを建設・開通に尽力された方々と地域の団体関係者で祝いました。

センターは地域に合わせ落着いた作りでした。また桜の花の間から民家の傍を走る「さくらやまなみバス」の車体の絵は、長閑な雰囲気を出していました。

祝典で「南へ来てください」の言葉は耳にしましたが、「北へ来ます」の言葉を聞き漏らしたのは残念でした。これを機に地域の努力もさることながら、文化都市を誇る行政が、施策によって当然北部の文化・経済の発展に力を入れてくれるものと期待しています。



福祉だより
ぬくもり



住民フリートーク

三月二十八日（土）、十時半から十二時まで、コミュニティセンターで住民フリートークが開催されました。分区分長の開会挨拶の後、三グループに分かれ、地域福祉についての在り方や問題点、要望を話し合いました。残念ながら参加者は、社協の関係者を中心に十八名と、昨年を大きく下回りました。参加者の減少や一般住民の方の参加が少なかつたことに、この地区の地域福祉の問題点が象徴的に浮き彫りにされているように思われます。

北六甲台も誕生して二十七年目を迎え、成熟した街になりました。それだけに高齢化も一段



地域福祉を支えるボランティアがますます必要です。ところが現実にはメンバーは固定化され新たな参加は少数です。社協だけでなく他の地域組織も同じ悩みを抱えている筈です。団塊世代のリタイヤが始まり、地域に目を向けて貰える機会が巡ってきたと思われまふ。

地域福祉を支える新たなメンバーの参加というテーマ

ご存知ですか？

民生委員、主任児童委員紹介（北六甲台分区地域）

■民生委員・児童委員

担当地区	氏名	連絡先	担当区分
北六甲台	1丁目 日高 昭夫	904-0156	
	2丁目 古南 圭子	903-3641	
	3丁目 田中 弘子	903-0335	
	4丁目 本郷 克子	903-2361	
	5丁目 上野 智子	903-6405	1～21、44～46
	〃 浅井 勲	903-2570	22～43
上山口	2丁目 瀬戸 泰博	904-1429	
	3丁目 倉本 和正	903-5555	
	4丁目 古澤 正信	904-0774	

■主任児童委員（児童問題を専門に担当）

担当地区	氏名	連絡先
北六甲台、上山口2・3・4丁目	小野寺 和子	904-3566

研修旅行報告

播州地区の施設見学バスツアーを体験し

高橋 貞

三月六日（金）、生憎の雨天、八時三十分定刻に出発。山陽道・播磨道を経て岡山県境に接する西播磨地区へバスに揺られて二時間余り、播磨科学公園都市、その一角に最初の目的地「兵庫県立西播磨総合リハビリテーションセンター」がありました。職員より約四十分間、施設の概略と周辺施設の説明を受けました。センターのテーマは「人」、シンボルマークも人間模様の三つの

建物は木材を六〇％（内、地元産材木八〇％使用）使って木のぬくもりを強調、天井は高く、ゆとりを持たせたヨーロッパ調の明るい雰囲気にしていました。施設は、リハビリテーション西播磨病院（プライバシー保護のため外観のみ見学）と福祉用具の展示場、室内競技場、温水プールを見学して終了。尚、施設見学は休日以外何時でも可、医療施設は医師の紹介なしでも受診できますとの事。周辺施設については字数制限もあり、省きます。悪しからず。

国民宿舎の赤トンボ荘にて昼食を済ませて、次の見学先へ移動。兵庫県立歴史博物館では、フランスのミシュラン観光ガイドに三ツ星に取り上げられた姫路城。その姫路城と城下町のようすが立体的に大型映像で楽しめ、また、県内の祭りと民俗芸能の資料や模型等、見る物が盛り沢山ありました。帰路の途中、明石の魚の棚に立ち寄り、帰着予定時刻に無事コミセン前に到着。お世話して下さった役員の皆さん、ありがとうございました。

